

《活動報告》

Kyoto University Ancient History Seminar,
4 February, 2023

増 永 理 考

2022年12月から2023年2月のあいだ、イスタンブル大学文学部 (Faculty of Literature, Istanbul University) のハムディ・シャーヒン (Hamdi Şahin) 教授が日本に滞在された。今回、シャーヒン教授は、日本学術振興会外国人招へい研究者 (短期) として、京都大学大学院文学研究科の藤井崇准教授受入のもと、来日されたのである。

シャーヒン教授は、2003年にイスタンブル大学にて、ローマ帝政後期からビザンツ期のキリキア地方 (現トルコ南東部) に関する碑文学的研究によって博士号を取得され、その後は、主にヘレニズム期やローマ帝政期を中心に、同じくキリキア地方での精力的な発掘活動とともに、奉納に関わるギリシア語碑文、あるいはマイル・ストーンなどのラテン語碑文を用いた研究を展開されている。2005年、同じくイスタンブル大学で教鞭をとり、2016年より教授を務めておられる。

シャーヒン教授が本邦に滞在中、筆者を主催、シャーヒン教授および藤井准教授を共催とし、2023年2月4日に *Diving into Asia Minor: Multiple Sources for the Hellenistic and Imperial Greek World* と題するワークショップを開催した。本ワークショップでは、シャーヒン教授を含む6名の報告者を交え、碑文、考古資料、文学的史料、貨幣など様々な史資料の観点から、ヘレニズム期からローマ帝政期における小アジアのギリシア人社会に迫るためのアプローチや研究可能性、あるいはその限界などについて議論した (次頁にプログラムを添付)。

まず、岸本廣大准教授 (同志社大学) が小アジア南西リュキア地方におけるコイノンとそれをめぐる史料について報告を行った。次いで、シャーヒン教授がキリキア地方のコリュコスにおける人口動態復元に関して、その後、師尾晶子教授 (千葉商科大学) がリュキアにおける景観とアイデンティティの問題についてそれぞれ報告した。休憩をはさみ、後半ではまず、増永が帝政期の小アジアで増大した都市発行貨幣の動向とその利用可能性を紹介した。文学的史料をめぐる報告もあり、大野普希氏 (京都大学大学院博士後期課程) がパウサニアスやアレクサンドリアのディオニュシオスによる「案内記」的作品における小アジアの記述に関する問題、そして勝又泰洋氏 (京都大学等非常勤講師) が「第二ソフィスト思潮」下の著作における、ホメロス作品に登場するトロイアの英雄に関する問題を扱った。当日は参加者のあいだで活発な議論が交わされ、豊かな史資料を有する多彩な研究フィールドとしての小アジアのありようが再確認されたように思われる。

Kyoto University Ancient History Seminar

4 February, 2023

Department of European History
Graduate School of Letters, Kyoto University

Diving into Asia Minor: Multiple Sources for the Hellenistic and Imperial Greek World

Organizer: Masataka Masunaga (Kyoto University)

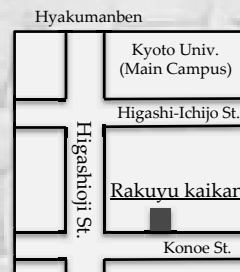
Programme

- 13.00 Opening Remarks
- 13.05 Kota Kishimoto (Doshisha University)
How Can We Study the Koinon in Lycia? Focusing on Its Sources and Approaches
- 13.40 Hamdi Şahin (Istanbul University)
Demography of Corycus during the Roman Imperial Period
- 14.15 Akiko Moroo (Chiba University of Commerce)
Tombs for All to See: Mortuary Landscape and the Local Identity in the Hellenistic and Roman Lycia
- 14.50 – 15.00 Break
- 15.00 Masataka Masunaga (Kyoto University)
Coin Fever in Roman Asia Minor: Civic Representation on Small Canvases
- 15.35 Fuki Ono (Kyoto University)
Greek Cities in Asia Minor and the 'Periegetic' Literature
- 16.10 Yasuhiro Katsumata (Kyoto University)
Trojan Heroes in the Second Sophistic Literature
- 16.45 Closing Remarks

Venue: Rakuyu kaikan (楽友会館), Conference Room 1&2 (2F)

Co-organizers: Hamdi Şahin (Istanbul University)
(日本学術振興会 外国人招へい研究者 短期)
Takashi Fujii (Kyoto University)

Contact: Masataka Masunaga (rikou_zeus@yahoo.co.jp)



Please register your participation here!



京都大学
KYOTO UNIVERSITY